

さいたま市長 11月定例記者会見

平成19年11月14日（水曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 記者クラブの皆さん、こんにちは。ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

それでは、幹事社の時事通信さん、よろしくお願いいたします。

○ 時事通信 11月の幹事社を務めております時事通信と申します。よろしくお願いいたします。早速ですが、本日の記者会見で市のほうから発表していただける内容につきまして、市長さんのほうからご説明をお願いいたします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。それでは、定例の記者会見をこれから始めさせていただきます。

本日私どもからお諮りをする議題は3件ございます。

まず、「さいたま市立中央図書館の開館について」申し上げます。

中央図書館が浦和駅東口再開発ビルの公共施設コムナーレ8階に11月の29日に開館をいたします。これによりまして、コムナーレの8階から10階までの公共施設は、すべて市民の利用の開始が始まるわけでありませう。

中央図書館は、本市の22ある図書館の中核機能を担う図書館として初めて開館をいたします。

図書館の組織構成は、従来の並列型から、中央図書館と複数の地区図書館による3層の階層型に変更し、効率的で多様なサービスの拡充に努めます。

延べ床面積は約5,800㎡で、ワンフロアの図書館としては県内で最も広い施設でございます。

開館時の図書は約25万冊、調査研究に必要な図書の充実を図るとともに、閲覧席も利用される方の年齢や利用の目的に対応して480席設けています。

サービスデスクは、気軽に読書や調査・研究に関する相談をしていただけるよう4カ所に配置をさせていただきます。

サービスの特色の一つとして、ビジネス活動を支援するサービスの充実

を図ります。新たに図書館とさいたま市産業創造財団が連携し、セミナーの開催や相談窓口を設置をしていきます。

資料や情報の提供方法としては、パソコンから新聞記載情報や科学情報などの有料データベースを検索をし、図書や雑誌などの活字資料とともに幅広く情報収集ができるよう整備をしております。

図書館資料はICタグにより管理をいたしますが、このことにより、ITをフルに活用し、自動貸出機、自動返却機、自動書庫を導入し利便性を図ります。

なお、自動貸出機はさいたま市でも既に3館に設置をしてきましたが、自動返却機については日本の公立図書館では初めての稼働になります。

11月29日には、開館式を行います。これまで心待ちをして下さっていた皆さんと一緒に、大いにお祝いをしたいと思っております。

そして、開館日の夜には、ジャーナリストとしてご活躍の、さいたま市図書館協議会委員でもある轡田隆史氏による記念講演会が開催されます。

また、お手元の資料にありますように、1週間にわたり開館を記念し、読書にちなんだ内容のイベントを実施いたしますので、報道機関の皆様には取材方よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、議題2「全国高校総体さいたま市ポスター等入賞者の決定について」ご説明をいたします。

平成20年の7月末から8月中旬にかけ、埼玉県で全国高等学校総合体育大会が開催をされます。さいたま市では、水球、サッカー、テニス、自転車のトラック、ウエイトリフティングの5競技種目を実施いたします。

全国から集う大会参加者を温かく迎えるとともに、市民の皆様には大会の開催を広くお知らせするため、競技ポスターとプログラムの表紙図案を市内の中学校、高等学校の生徒を対象に募集を行いました。

260作品の応募があり、選考委員会における審査を経て、私の後ろに今掲示をしてございますが、最優秀賞6点を初め入選作品が決定いたしました。

なお、共同開催となります水球と自転車のトラック競技については、それぞれ川口市と秩父市・小鹿野町との合同選考会を経て決定いたしました。

最優秀賞の作品は、さいたま市のポスターとして、広く市民の皆様に大会を周知をするとともに、また各競技のプログラムの表紙として活用してまいります。

なお、本日午後3時半から、政策会議室におきまして各最優秀賞の表彰式を行います。表彰式には「ヌウ」と「コバトン」が登場いたします。

さいたま市と埼玉県のPRキャラクターが初めて共演いたしますので、ぜひ取材方をよろしく願いいたします。

続きまして、議題3「2007さいたまシティマラソンの開催について」説明をいたします。

2007さいたまシティマラソンを11月の23日の金曜日、これ勤労感謝の日に開催をいたします。

8時半開会式、競技のスタートは9時からとなっております。

さいたまシティマラソンは、「一市民スポーツ」を基本理念に、「みんなであつろう！スポーツのまち・さいたま」の実現に向けて、小学生から高齢者の方まで、多くの市民と各地からのランナーに参加をしていただくことを目的に開催をいたします。

コースは、駒場スタジアムをスタート・ゴールとするコースであります。

参加申し込みは、北は北海道、南は沖縄県の23都道府県からございまして、計4,670名が参加をいたします。

なお、参加申込者数は昨年比に838名増ということになっています。

なお、マラソン大会当日、午前8時50分から正午前まで、駒場スタジアム周辺と第2産業道路・国道463号線の一部などで交通規制を行います。

詳細につきましては別添の交通規制図のとおりでございますので、ご協力方よろしく願いいたします。

本日の議題については、以上です。

○ **時事通信**      それでは、今発表いただいた事項につきまして質問があればよろしくお願ひします。

○ **埼玉新聞**      中央図書館の特色の件で、ビジネス支援など各種支援サービスを充実させますとありますが、具体的なサービス内容というのはどういったものがあるのでしょうか。

- 市長 じゃ、担当のほうから。
- 事務局 関連する図書は約6,000冊集めまして、それ以外にも会社のCSRとか、そういった活字資料も収集しております。それ以外にも有料のデータベース、これ無料で利用させていただいて、活字資料とともに広く情報収集してビジネス活動に役立つ、そういった資料や情報が提供できるようにと考えております。
- 埼玉新聞 情報収集資料ということでよろしいのでしょうかね。
- 事務局 はい。資料や情報をですね、広く収集してそういったビジネス活動に役立つ、そういった情報や資料の提供ということになります。
- 産経新聞 自動返却機など日本初の設備を備えているということなんですが、この規模とといいますか、機能というのは日本全国ではどのぐらいの規模なんでしょうかということと、そういった高機能の中央図書館を持つことについての感想とといいますか、市長からお伺いできたらと思うんですが。
- 市長 自動返却機とはどのようなものかということですが、これまで欧米の図書館を中心に設置をされていたものでありまして、日本では大学の図書館で一部導入が始まっているという段階です。
- 使い方としては、投入口から1冊ずつですね、返却する本を入れて、それがローラー状の経路を進む中であらかじめ設定をしていた分類で仕分けをされる、こういう仕組みになっています。返却した方には、返却記録がレシートとして渡されるということでございます。
- また、自動書庫も備えました。この自動書庫というのは、図書館のコンピューターシステムと連動しておりまして、検索した結果、資料が書庫に収録されていれば自動的にカウンターまで搬出されます。出納に要する時間はおおむね3分程度でありますので、利用者を待たせることなく資料提供ができるというものであります。開架部分と閉架部分と図書館ありますので、特に閉架部分の専門的な資料その他の検索がですね、非常にスピーディーになるだろう、このように考えているところであります。
- 何かつけ加えることあったらお願いします。いいですか。
- 産経新聞 もう一度日本最大とか、そういった日本で先端的な機能を入れているというようなことはあるんでしょうかという部分については。
- 市長 じゃ、担当から。



それで蔵書管理するということになりましたので、それにかかる日時が必要だったということです。張って、そこにデータを書き込むという作業がありますので、かなりの日数が必要になりました。

○ 市長 もう行ってごらんになりましたか。

○ 読売新聞 まだ行っていません。

○ 市長 行ってみてください。わかります。これだけ広いんじゃないなということがね、よくわかると思うんで、ぜひね、足運んでみてください。

○ 時事通信 よろしいでしょうか。

では、次に移らせていただきます。幹事社から代表質問をさせていただきます。

2つお伺いしますが、まとめて最初にお伺いしますので、お願いします。

まず、第1点目なんですが、新年度予算についてお伺いいたします。平成20年度の当初予算案の編成作業を進めておられると思うのですが、先般予算編成方針も公表されたところではあるのですが、改めてですね、現在の進捗状況ですとか、あるいは編成方法の特徴を教えてください。もし現時点でお聞かせいただけるものがあれば、特に力を注がれる分野ですとか、新規事業についてもお考えをお聞かせください。

2点目は、ちょっと日があいてしまいましたが、学力テストの結果についてお伺いいたします。先般公表されました全国学力・学習状況調査の結果につきまして、さいたま市さんでは全体の平均正答率などを公表していただきました。すべての科目ですとね、全国平均を上回る結果となりましたけれども、その感想とですね、今後そのテストの結果を市の教育にどのように生かしていけるのか、お考えを聞かせてください。

以上です。

○ 市長 それではまず、新年度予算についてお答えをいたしたいと思います。

まず、平成20年度予算編成の進捗状況であります。現在各局からの予算要求を財政局に整理をさせておりました。来年1月の中旬をめどに具体の詰めをしてまいります。

次に、予算編成の特徴といたしましては、各局のですね、自主的な予算編成により市民ニーズに的確に対応できるよう局枠配分方式を導入をするとともに、各局が競い合う総額16億円の局運営方針推進枠を創設いたし

ましたので、各局の創意工夫を期待をしているところであります。

次に、新年度の重点分野につきましては、子育て支援、安心、安全、オリジナリティーの3つのキーワードのもと、メリ張りのある予算の配分を  
してまいりたいと考えております。

新規事業といたしましては、子育て支援の分野では、所得制限の撤廃と対象の拡大を検討しております子育て支援医療費支給事業、安心、安全の分野では、(仮称)さいたま市民医療センターの開設、オリジナリティーの分野では、プラザノースの開設などを予定をいたしております。

いずれにいたしましても、これら重要政策事業を含む総合振興計画とマニフェスト行動計画事業を着実に実施をし、理想都市の実現に向けた予算編成を行ってまいりたいと考えているところであります。

次に、全国学力テストの結果についてですが、今度のさいたま市の結果についての感想をというお尋ねであります。まず全国的に基礎的な知識に関する問題と比較して活用に関する問題の正答率が低い中、活用に関する問題の市の平均正答率が全国や埼玉県と比べて高いのが目立ったところであります。特に小中学校の国語の活用に関する問題では、各都道府県と比べるとトップクラスでございました。

この結果は、教育に対するさいたま市や各学校のこれまでの取り組みの姿勢は正しかったということ、また学校教育に対する保護者や地域の皆様の支援の成果と考えているところであります。

今回の調査結果は、学力のすべてをあらわすものではありませんが、こうした着実な取り組みが数字となってあらわれたと思います。

さいたま市では、今後文部科学省が委託をした学識経験者や小中学校及びPTAの代表者などで構成するさいたま市検証改善委員会で、学習指導方法の工夫改善につながる学校改善支援プランを作成し、3学期に行われます公開授業研究会を通じて、広く市内の学校に学習指導方法の工夫改善策を具体的に提言をしていくことで、さいたま市教育委員会が推進している「学びの向上さいたまプラン」をさらに充実をさせてまいります。

とりあえず以上でございます。

○ 時事通信

ありがとうございます。今の幹事社質問の件に関してご質問のある方はよろしく申し上げます。

- 朝日新聞 先ほど予算の中で、新規事業の中でおっしゃられた安心、安全に重点を置いた市民医療センターですか、それはどういうものでどういった特徴のある事業なんでしょうか。
- 市長 市民医療センターについてのお尋ねであります。現在西区大字島根に建設中の（仮称）さいたま市民医療センター、これが平成20年度にオープンをするという予定で今工事が進んでおります。所在地がさいたま市西区大字島根299番地1のほか、敷地面積が1万8,639㎡、延べ床面積2万9,317㎡、鉄筋コンクリートづくり、免震構造で、地下1階、地上6階建て、塔屋階を含む6階建てです。病床数が340床、それから開院が平成21年の3月に予定をいたしております。
- 特色は、小児救急医療体制の充実及び回復期リハビリテーションの実施、これがですね、特徴になっておりまして、この病院は紹介病院でありますから、いきなり見えるということではなく、原則的には医師の紹介ということになろうかと思っております。第2次医療ですかね、第2次医療になると、こういうコンセプトの病院でございます。
- 時事通信 それでは、これまでの案件含めまして、そのほかでも結構ですが、ご質問お願いいたします。
- 日本経済新聞 ちょうどきょうで鉄道博物館が開館して1カ月たちますが、市長のご感想をいただけないでしょうか。
- 市長 実はですね、予想以上に来館者数が多かったと、24万人ですか、きょう某埼玉新聞に出ていましたけど、24万人という数字が出ておりまして、これは割り返すと1日8,000人ということになりますので、かなりの利用者の数だなというのが率直な感想です。
- それで、おもしろいなと思ったのがですね、特に今月でしょうか、月曜日の振りかえ休日なんか非常に多かったんですね。そうしましたら、日月がほとんど同じぐらいの数が見えていると。それ館のほうから聞いたんですけども、要するに日曜日は込むだろうからというんで、振りかえになった翌日の月曜日、これらがかなり込んでいるというそんなことをお聞きをしました。相変わらずですね、SLなんかのD-51なんかのですね、実体験のところではもう予約じゃないとできない、こういう状況のようございまして、ある意味で鉄道のまちさいたま市としてはですね、非常に



いい郷土資源ができたな、こんなふう zu 思っております。

○ 埼玉新聞 大宮地区への経済的な効果というのは、どういふふうにごらんになったんですか。

○ 市長 まだはっきり出ているわけじゃございませんけれど、それだけですな、人の乗り降りが激しいというか、多くなったあれ、鉄道博物館駅が従来の約3倍の利用者ということでもありますから、その鉄道博物館で降りた人は大抵大宮駅を通過してすな、また乗りかえてお帰りになるわけでしょうから、そういった意味での商業的な波及というのはこれからかなり期待できるんじゃないでしょうか。まだ数字としてはとらえておりません。

○ 埼玉新聞 鉄道博物館よりちょっと前にコムナーレもオープンされて1カ月以上たちましたけども、こちらの利用状況等についてお願いします。

○ 市長 主な利用状況ですが、10月25日から11月7日、2週間ということでお話をさせていただきますと、浦和のコミュニティセンターが延べ1万2,790人、それから市民活動サポートセンターが延べ1万3,024人、こういった市民の方々に利用していただきました。両施設とも1日平均900人を超えると、こういうご利用をいただいております。そして、利用者以外にもすな、ロビーは市東部に広がる緑や埼玉スタジアム2002などを臨むことができますし、パルコの買い物帰りに立ち寄る子供連れや若者の憩いの場にもなっているようでございます。

また、10月の10日から利用開始をいたしました国際交流センターですが、7日までの25日間で1,795名の利用がございました。移転後の新規事業として「にほんごのへや」、これは毎週金曜日の開催ですが、等を実施をしたことにより利用者が増加をしたものと思われます。

10月9日から電話相談を開始した浦和消費生活センターは、7日までの24日間で371件、15日から開始した来所相談は43件でありました。土曜日に相談受け付けを開始したことや立地の利便性から相談件数は増加をしたものというふう zu 考えておりまして、いずれの施設もすな、まだ始まったばかりで、確たる統計ではございませんし、前年同月比というふうな数値は出ておりませんが、予想以上に利用されているんじゃないかな、こんなふう zu 思っています。

○ 埼玉新聞 ありがとうございます。

- 埼玉新聞 浦和区の横領の件で聞きたいんですが、浦和区の区民課のほうでは定額小為替と住民票とかの申請書の台帳処理、台帳で管理してなくて、ばらばらで管理していた、そういう処理をしていたそうなんですが、ほかの区の区役所ではですね、そういう処理がなかったのかというのは調査されたんでしょうか。
- 市長 いたしました。
- 埼玉新聞 なかったんですかね。
- 市長 ございませんでした。
- 埼玉新聞 あとは、今回の穴埋めした方法なんですが、区の中の懇親会費ですかね、あれで埋めたということなんですが……
- 市長 それがやっぱり仲間意識というんでしょうか、そういうものが出ちゃったんじゃないかなというふうに思っておりますけれども、適切ではなかったなというふうに私は思っています。
- 埼玉新聞 市民から見ると、区役所の課とかですね、市役所の課に、どこの課長にもね、ああいう、裏金とは言わないですけど、見えにくいお金があるのかなと思ってしまう場合もあるかと思うんですが……
- 市長 そうですね。そういう疑念を抱かせるということ自体ですね、非常に処理の仕方としては稚拙であったんじゃないかなというふうに私は思います。
- 埼玉新聞 その辺の懇親会費とかですね、準公金と思われるお金の調査というのは特にされないんですかね。
- 大庭副市長 いや、それはそれぞれの課でやっている話ですので、公金というよりは、それぞれの職場の……
- 埼玉新聞 職場の……
- 大庭副市長 環境を上げるためのものでね……
- 市長 懇親を目的とした積み立てみたいなので、それ自体は別に悪いことではないんですけれども、その使途が悪かったと、こういうことになるんじゃないでしょうかね。
- 埼玉新聞 何か浦和区の区民課では、随分合併前からその懇親会費が取り置かれたまんまになっていたと。それだから額も5万幾らですかね、あったという話だったんですが、結構そういう……
- 市長 でも、区ができれば政令市の中では区民課というのはありませんか

ら。

- 埼玉新聞      ああ、なるほど。どっかから引き継がれてきて……
- 市 長      そういう組織自体がありませんから、その推察は当たらないんじゃないでしょうかね。
- 埼玉新聞      もう一点、別の話いいですかね。新都心の開発なんですけど、放送局を誘致するという案が上がっているそうなんですけど、さいたま市としては何かどういう施設、にぎわいの部分が弱いというふうに言われているんですけど、何かにぎわいをつくる施設としてどういうものが……
- 市 長      そうですね、さいたま市のほうとしてはですね、一応サッカーミュージアムというふうなことで、にぎわいを創出する施設としてサッカーミュージアムを前提に公募を行ったわけなんですけれども、他の提案でも結構ですということでアイデアを募ったんですけど、それぞれ皆さんがですね、サッカー施設、サッカーミュージアムということを提案をしてくれました。ある意味では、やっぱりそれがさいたま市として一番新都心にもふさわしい機能だというふうにお考えになったんじゃないかなというふうに思っております。そういった意味ではですね、つい先だって、11月の11日にナックファイブスタジアム大宮、これがオープンいたしまして、何としてもアルディージャの残留をかけた戦いだったんですけど、非常に残念なことにですね、敗れてしまったということでもあります。

これは、冗談でありますけれども、アルディージャの色はオレンジなんです。これ児童虐待防止のキャンペーンのリボンなんです。これアルディージャは虐待防止キャンペーンも兼ねておりますので、ひとつよろしくお願いをいたします。

それから、きょうはですね、ACLの決勝戦がございまして、これ非常にまた楽しみでありまして、そういった意味でサッカーというのはですね、今まちの中心の話題として根づいているということからはそのサッカーミュージアムというようなことも非常にいいんじゃないかなというふうに思っています。

あとNHKさいたま放送局というような話がですね、やっぱり一部新聞で報道されておりましたけれども、県や市がNHKに働きかけたという事実はございません。ただ、実現すればスタジオが併設されるなど訪れる方

が楽しく利用できる可能性もありますので、シンボル性やにぎわい創出の面で全体的にやっぱり歓迎すべきプログラムじゃないかなというふうに私もは思っております。ただ、ご承知のように優先交渉権者、これが決まらしましてね、MNDさいたまが優先交渉権者でありますから、この優先交渉権者がNHKの組み入れを了承していただくということが大前提になってくるわけでありまして、その辺のご了承を得られて組み入れられればですね、これはやっぱり1つの集客のですね、にぎわいの核にもなれるんじゃないかなと、そんな期待も実は抱いております。

- 埼玉新聞      サッカーミュージアムと放送局以外では何かお考えっておりますか。
- 市 長      あとは、県のほうがスーパーアリーナを補完するような、いろんな集会施設みたいなものをですね、ご提案されているようでありまして、それらと相まってですね、やはり人の出入りが頻繁な建物になればいいなというふうに思っています。
- 埼玉新聞      先ほどサッカーのお話出ましたが、今度、きょうのACL、続いて18日も浦和レッズの優勝という可能性が出てきていますが、優勝の際、何か市としてイベント等を今のところお考えでしょうか。
- 市 長      市としてのイベントは考えておりません。前回のリーグ優勝、それからその前ですね、後半優勝のときそれぞれパレードをやりまして、この市役所の4階からですね、選手が集まってくれたサポーターの方々の声援におこたえをしたと、こんなことがございました。これらは、いずれもレッズ主催でありまして、私ども市としては会場をお貸しをするという程度のかかわりでございます。これからまだどういうことになるのかわかりませんが、ACLで優勝すれば当然そういった優勝パレードといったこともあるでしょうし、またリーグ優勝すればそれもそれということで、両方ダブルでの優勝パレードをやってくれればいいなというふうに思っていますが、まだいずれにしても日程的にですね、非常にタイトなものですから、そのパレード等の日取り等についてはまだ検討中ということだそうではありますが、いずれにしてもレッズのほうでもですね、そういった優勝パレードは考えておられるようであります。
- 時事通信社      じゃ、よろしいですかね。  
どうもありがとうございました。以上をもちまして質問を終わらせてい

たゞきます。

- 進 行 これをもちまして定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございます。ございました。

午後2時08分閉会